



施工実績（桜川ダム下公園/あなぶきアリーナ香川）

○本社所在地：香川県仲多度郡琴平町

○事業概要：体育器具・公園遊具・アーバンスポーツ器具の設計、製造、施工、メンテナンスまでの一貫体制による提供

○常時使用する従業員：91名
(2025年6月時点)

○現在の売上高：28億円（2025年6月期）

○法人番号：8470001008178

○Web：

<https://www.tsumura-f.co.jp/index.html>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
都村 尚志

全世代に「笑顔」と「健康」を届ける

1893年の創業以来、130年以上にわたり「子どもたちに体を動かすことの楽しさを伝える」ことを使命としてきました。この伝統を基盤に、私たちは今、売上高100億円の実現に向けた「第2の創業」とも言える変革に挑みます。少子化という社会課題に対し、公共市場やアーバンスポーツ事業の基盤を盤石にするとともに、民間企業の「健康経営」支援やグローバル市場（FIBA認定取得）への挑戦を通じて、100年後も必要とされる「健康空間プロデューサー」へと進化します。リスクを恐れず投資を行い、社員の待遇改善と地域経済への貢献を果たしながら、日本発・世界へ通じるスポーツ・健康産業のリーディングカンパニーを目指すことをここに宣言します。

売上高100億円実現の目標と課題

2035年の売上高達成に向け、3つのフェーズに分け段階的に成長を目指す。

実現目標



課題

1. 生産基盤の抜本的刷新と生産能力の倍増
2. 公共事業依存からの脱却と民間新市場の開拓
3. 国際基準への適合と高付加価値化による海外展開
4. 顧客視点の組織変革とマーケティング機能の強化
5. 技術の属人化解消と次世代への確実な承継

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

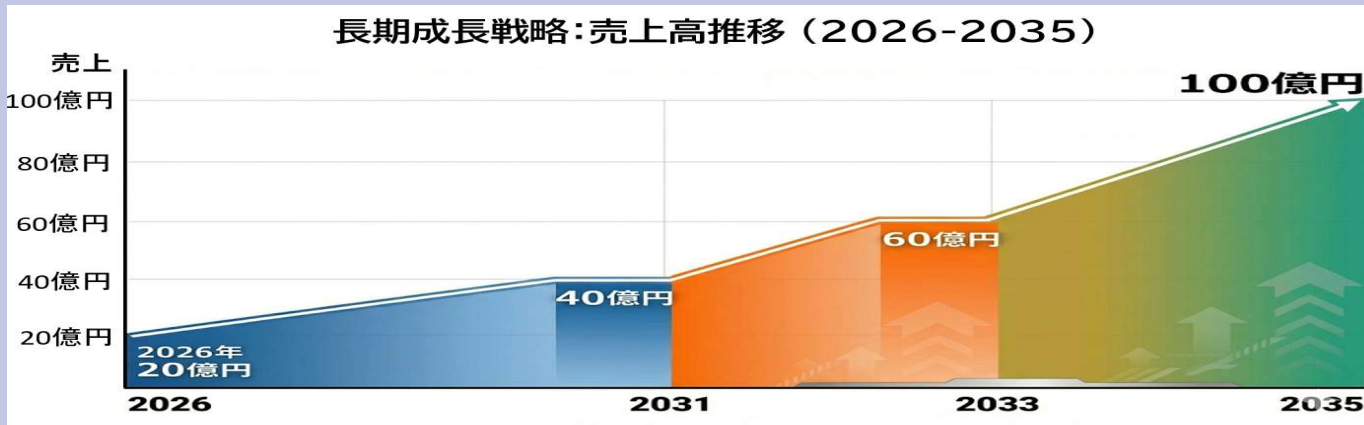
- 生産基盤の刷新と供給能力の倍増
最新塗装ラインの導入と製造 DXにより、生産能力を倍増させ、年間40億円規模の受注に即応できる体制を構築する。
- 「健康経営」市場への参入と組織変革
多機能器具「まじトレ」による民間BtoB市場の開拓と、提案型営業への転換により第2の収益の柱を確立する。
- グローバル展開と事業領域の多角化
FIBA認定取得による海外輸出の開始と、M&Aや施設運営（PFI等）を通じたバリューチェーンの拡大を推進する。

実施体制

- 生産基盤と技術人材の抜本的強化
最新塗装ラインの導入と技術者の積極増員により、供給能力を現在の2倍へ引き上げる。
- 新市場への参入と提案型組織への転換
「健康経営」市場を開拓する専門部署を新設し、高付加価値な空間提案ビジネスを確立。
- 世界基準の品質確立と全国営業網の拡充
FIBA認定取得による海外輸出の開始と、全国的な営業・サービス拠点の整備を推進。

※本宣言は企業自身がその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

売上高100億円実現の目標と成長手段



	フェーズ1 基盤再構築 (2026-30)	フェーズ2 領域拡大 (2031-33)	フェーズ3 飛躍・多角化 (2034-35)
売上目標	40億円	60億円	100億円
目指す成長手段	【生産革命】 ・新工場の建設と塗装ラインの自動化 ・3D CADと製造DXによる設計効率化 ・ボトルネック解消によるリードタイム短縮	【新市場創造】 ・民間BtoB「健康経営」市場への本格参入 ・多機能器具「まじトレ」のブランド化 ・提案型空間デザインビジネスの確立	【グローバル&多角化】 ・FIBA認定取得による海外輸出の本格化 ・PFI/指定管理による施設運営への参入 ・周辺領域のM&Aによる事業規模拡大
克服すべき課題	建屋・設備の老朽化解消と、熟練技術のデジタル化による承継	公共事業への偏重（95%）からの脱却と、民間販路・ブランドの構築	世界基準の品質管理体制の構築と、サービス事業への組織マインド転換
実施体制	・製造管理センターの新設 ・技術・製造人材の積極採用（30名規模） ・生産管理DXチームの編成	・マーケティング・デザイン専門部署の設置 ・名古屋、九州など全国営業拠点網の完成 ・BtoB専門営業チームの育成	・グローバル事業部（海外営業）の創設 ・施設運営・サービス管理部門の立ち上げ ・M&A検討委員会の設置